

で話せるようになってきている様子をたくさん見てきた。刈谷市のような不登校の生徒対象の進学説明会を他市にも広げて行ってほしい。

3-3. 安城生活福祉高等専修学校の教育内容、地域・企業連携

愛知県三河地域の中学校教員を対象にした「高等専修学校の認知度に関するアンケート」の結果によると、中学校の先生が高等専修学校の教育内容や教育方法に対して強く求める項目としては、「生徒へのきめ細かい対応」、「就職を見据えた指導」、「様々な資格」の順となった。前述したような高等専修学校に進学する多様な生徒に対して、きめ細かく指導を行って、就職に繋げるということが高等専修学校に強く求められていることであると言える。一方で、高等専修学校にとって大切なことは、生徒が継続的に学校に通って、抵抗なく学習ができるように、興味を持つことができるような授業や外部事業を設けていくことであると考え。「高等専修学校の認知度に関するアンケート」の結果において、中学校の先生が高等専修学校の教育内容や教育方法に対して強く求める項目として、「専門的授業」、「現場実習」、「企業連携・地域連携」の項目が前述した3つの項目の次に票を集めた。

当分科会の担当校である安城生活福祉高等専修学校では、多種多様な生徒の興味を引き出し、学校に継続的に通うことができるように、職業教育や実習だけでなく、特に地域連携事業や企業連携事業を重要な事業と位置づけて積極的に実施している。

各専攻において実施している授業の内容、地域連携・企業連携事業の一例を下記に示す (Fig.3-2~Fig.3-7)。



Fig.3-2 ファッション専攻 事例
(地域の複合施設でファッションショー)



Fig.3-3 パティシエ専攻 事例
(ふるさと納税の返礼品に採用)



Fig.3-4 ファッション専攻 事例
(町内のクリスマス会で子ども向けイベント開催)



Fig.3-5 医療福祉専攻 事例
(地域の様々なイベントでボランティアを実施)